

1. はじめに

平成21年は看護教育の大きな節目の年となりました。「保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律の一部改正」が7月9日に成立し、本年4月1日より施行されました。この改正によって、これまで6月以上とされていた保健師教育および助産師教育の修業年限が1年以上に延長されました。今後、順次カリキュラム等も改定され、資質の向上が図られると期待されます。

この改正では、大学での看護師教育への道も開かれました。看護師のさらなる資質向上と人材確保のために、今後大学を中心とした教育体系への転換も推進され、保健師教育を修士課程で行う大学が増えていくと予想されます。

東京大学大学院医学系研究科では、平成18年4月から修士課程保健師コースを開設しました。1期生から3期生まで6名が修士課程を修了し、自治体や企業に保健師として就職しています。平成21年度は4期生3名が実習に取り組み、成果を報告会や学会発表、学術雑誌への投稿という形で報告しました。4年にわたる実習指導の中で、実習方法や指導方法を改善し、より良い方法が蓄積されると共に、保健師の専門技術についての確かな像が形成されつつあります。平成21年度はこのテーマで科学研究費補助金を得ることができ、より一層内容が明確になりました。

こうした、教育と現場での保健師活動とを密接に関連させた先駆的な保健師教育の方法を、より発展させ、成果を発信することによって、地域看護学の構築に貢献してまいりたいと考えています。

また、当教室で取り組んできた24時間訪問看護・介護に関する研究は、平成20年度からは、滋賀県に加えて、福岡県の県庁や保健所と協働して行っています。在宅療養者が増加する中、在宅ケアシステムの整備は急務ですが、この整備には保健所保健師が核となって推進する重要性を感じています。今年も引き続き発展させていきたいと考えています。

当教室は、平成21年に発足18年目を迎えました。

当教室の活動成果は、毎年年報としてまとめております。本年も平成21年度の活動をまとめることができました。ご高覧いただき、ご助言、ご指導を賜れば幸いです。

教室員一同、研究と教育に更に努力を続けたいと存じます。

今後ともご指導ご鞭撻の程、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

平成22年4月

東京大学大学院医学系研究科
健康科学・看護学専攻地域看護学分野

教授 村嶋幸代

2. 研究業績

(1) 原著・報告

Megumi Haruna, SeonAe Yeo, Etsuko Watanabe, Masayo Matsuzaki, Erika Ota, Kae Nakayama, Sachiyo Murashima
Perceptions of women and health-care providers in Tokyo of appropriate weight gain during pregnancy.
Nursing and Health Sciences, 12(1), 21-26, 2010

Kae Nakayama, Megumi Haruna, Masayo Matsuzaki, Kyouichi Sekine, Sachiyo Murashima
Changes in 13, 14 - dihydro - 15 - keto - prostaglandin F_{2α}(PGFM) levels in saliva during pregnancy, labor and the
postpartum period.
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research, 36(1), 27-33, 2010

戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代
一般病棟から自宅退院する要介護高齢者への退院支援に必要な要素の分析 一追跡調査による評価から一
日本地域看護学会誌, 12(1), 50-58, 2009

成瀬昂, 有本梓, 渡井いずみ, 村嶋幸代
父親の育児支援行動に関連する要因の分析
日本公衆衛生雑誌, 56(6), 402-410, 2009

島村珠枝, 田口敦子, 小林小百合, 永田智子, 櫛原良枝, 永田容子, 小林典子, 村嶋幸代
多剤耐性結核患者の病気の受けとめと入院生活で感じていること
日本看護科学学会誌, 30(2), in press, 2010

白石三恵, 春名めぐみ, 松崎政代, 大田えりか, 村嶋幸代, 佐々木敏, 永井泰
妊娠期の朝食欠食に関連する栄養素摂取量とその要因
母性衛生, 50(1), 149-154, 2009

都筑千景, 村嶋幸代
1歳6ヶ月児健康診査の実施内容と保健師の関わり
日本公衆衛生雑誌, 56(2), 111-120, 2009

吉田真奈美, 春名めぐみ, 大田えりか, 渡辺悦子, Uayan Maria Luisa T, 村嶋幸代
在日フィリピン人母親が子育てで直面した困難と対処
母性衛生, 50(2), 422-430, 2009

鈴木良美, 大森純子, 酒井昌子, 安齋ひとみ, 小林真朝, 宮崎紀枝, 尾崎章子, 平野優子, 有本梓, 安武綾,
長弘佳恵, 龍里奈, 麻原きよみ
日本の「地域保健活動におけるパートナーシップ」 概念分析
日本地域看護学会誌, 12(1), 44-49, 2009

(2) 解説

村嶋幸代

修士課程における保健師教育-必要性と実現への道筋-
保健の科学, 51(10), 663-670, 2009

村嶋幸代

特集-私の「保健師必要論」専門職の目でネットワークを生み出す保健師その方法論が人々の生を支える
地域保健, 40(9), 46-51, 2009

永田智子, 村嶋幸代

生涯教育シリーズ-77 高齢者の退院支援
日本医師会雑誌, 138 特別号(2), 306-307, 2009

永田智子

退院支援における看護ケアネットワークの重要性と課題
保健の科学, 51(4), 220-224, 2009

永田智子, 鈴木樹美

特集 病棟ナースが行う患者・家族のニーズに応える退院支援事例集
臨床看護, 36(1), 1, 2010

永田智子

退院支援とは何か, なぜ必要なのか
臨床看護, 36(1), 2-8, 2010

永田智子

これだけは知っておきたい 退院支援に関する報酬
臨床看護, 36(1), 91-94, 2010

戸村ひかり, 小池英美

特集 病棟ナースが行う患者・家族のニーズに応える退院支援事例集 退院支援看護師による保健師と協働した ALS 患者への支援 -病気の受容や治療の決断ができない患者や家族に対し, 病気の進行を予測し, 先取りで支援を実施した事例-
臨床看護, 36(1), 48-54, 2010

山居優子, 久原陽子

病棟ナースによる在宅療養を希望する ALS 患者への退院支援-病状の進行が早く, 予後への不安が強い ALS 患者の事例を通して-
臨床看護, 36(1), 36-42, 2010

(3) 著書

永田智子, 村嶋幸代 (分担執筆)

高齢者の退院支援

標準理学療法学・作業療法学 老年学第3版 (編集 大内尉義). 医学書院, 74-78, 2009

村嶋幸代 (分担執筆)

第5章 高齢者看護 1.看護の視点(pp. 1507-1510)、7.高齢者を支える24時間ケアシステム(pp.1533-1536)

新老年学第3版 (編集代表 大内尉義, 秋山弘子). 東京大学出版会, 2010

永田智子 (分担執筆)

第5章 高齢者看護 6.高齢者のケアマネジメント (pp. 1529-1531)

新老年学第3版 (編集代表 大内尉義, 秋山弘子). 東京大学出版会, 2010

(4) 報告書

村嶋幸代, 山田雅子, 福田敬, 田上豊, 草野とし子, 永田智子, 田口敦子, 有本梓

厚生労働科学研究 研究費補助金 長寿科学総合研究事業

複数の訪問看護ステーションによる地域単位の24時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究

平成20年度総括研究報告書, 2009

村嶋幸代, 福田敬, 山田雅子, 永田智子, 田口敦子, 野尻直美, 成瀬昂, 桑原雄樹

平成20年度 老年保険事業推進費等補助金 (老年保健健康増進等事業分)

「訪問看護需給計画策定に関する調査研究業務」報告書

国立大学法人 東京大学, 2009

村嶋幸代, 平山朝子, 中西睦子, 前原澄子, 菱沼典子, 中村慶子, 高田早苗, 高橋真理, 松谷美和子, 小

山田恭子, グレック美鈴, 永田智子, 有本梓, 三木祐子, 渡邊麻衣子, 成瀬昂

平成20年度文部科学省大学評価研究委託事業 報告書

「看護学専門領域の評価システム構築—看護系大学・大学院の認証評価を目指して—

日本看護系大学協議会, 2009

(5) シンポジウム・セミナー等

村嶋幸代 (講演・講師)

シンポジウム「施設と地域を結ぶ専門職の役割」

地域看護の立場から

国立保健医療科学院 2号交流大会議室, 2009年6月7日

村嶋幸代 (講演・講師)

神経研夏のセミナー

「地域看護活動 方法, 成果と展望」

東京都神経科学総合研究所 1階会議室, 2009年6月22日

島村珠枝 (講師)

多剤耐性結核患者の病気の受けとめと入院生活で感じていること

平成21年度結核研究所保健看護学科研修「保健師対策5日間コース」(第1回・第2回)

東京都 (財) 結核予防会結核研究所, 2009年6月24日 (第1回), 9月15日 (第2回)

島村珠枝 (講師)

当事者の立場から見た DOTS 戦略～変わるべきは私たち ①多剤耐性結核患者の立場から

平成21年度結核研究所保健看護学科研修「夏季集中コース」

東京都 (財) 結核予防会結核研究所, 2009年7月30日

島村珠枝 (講師)

結核の保健看護活動 多剤耐性結核の支援

平成21年度結核研究所保健看護学科研修「保健師・看護師基礎・実践コース」(第1回・第2回・第3回)

東京都 (財) 結核予防会結核研究所, 2009年10月9日 (第1回), 11月12日 (第2回), 12月3日 (第3回)

島村珠枝 (講演)

多剤耐性結核への支援～ロサンゼルス・台湾の服薬支援活動から学ぶ～

平成21年度結核対策合同アドヴァンスコース

東京都 (財) 結核予防会結核研究所, 2010年1月29日

(6) 学会発表

戸村ひかり, 山本則子, 永田智子, 村嶋幸代, 鈴木樹美

自宅退院した医療ニーズの高いケースへの退院支援看護師による退院支援過程

第12回日本地域看護学会. 千葉県 OVTA (財) 海外職業訓練協会国際能力開発支援センター, 2009年8月8日-9日

石塚裕美子, 廣田真由美, 戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代

看看連携に関する国内文献の検討(第1報) —国内文献の動向と実態—

第12回日本地域看護学会. 千葉県 OVTA (財) 海外職業訓練協会国際能力開発支援センター, 2009年8月8日-9日

廣田真由美, 石塚由美子, 戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代

看看連携に関する国内文献の検討(第2報)

—連携システムに関する文献に焦点を当てて—

第12回日本地域看護学会. 千葉県 OVTA (財) 海外職業訓練協会国際能力開発支援センター, 2009年8月8日-9日

Satoko Nagata, Yumi Chiba, Shintaro Yamaki, Yumiko Yoshiike, Yuki Kuwahara, Sachiyo Murashima, Keiko Hattori, Miharu Nakanishi, Taeko Nakashima, Yoshiko Niino

Collaboration of hospital and community for discharge planning: a trial of a planning chart for successful transition to the home.

The 4th international conference on community health nursing research, Adelaide South Australia, Adelaide Convention Centre, Aug.16-20 2009

Sachiyo Murashima, Satoko Nagata, Atsuko Taguchi, Azusa Arimoto

Outcomes of the Education of Public Health Nurses in Masters' Course Program at the University of Tokyo, Japan.

The 4th international conference on community health nursing research, Adelaide South Australia, Adelaide Convention Centre, Aug.16-20 2009

Azusa Arimoto, Sachiyo Murashima

Competency of public health nurses for creating safety network to prevent child abuse and neglect

The 4th international conference on community health nursing research, Adelaide South Australia, Adelaide Convention Centre, Aug.16-20 2009

安齋由貴子, 岡本玲子, 佐伯和子, 奥山則子, 荒賀直子, 村嶋幸代

学士課程における保健師教育の問題点と積み上げ教育の必要性 (1)

—保健師の技術項目の到達度から—

第19回日本看護学教育学会学術集会, 北海道 日本赤十字北海道看護大学, 2009年9月20日-21日

岡本玲子, 佐伯和子, 安齋由貴子, 奥山則子, 荒賀直子, 村嶋幸代
学士課程における保健師教育の問題点と積み上げ教育の必要性 (2)
－看護師教育に必要な地域看護学の内容－
第 19 回日本看護学教育学会学術集会, 北海道 日本赤十字北海道看護大学, 2009 年 9 月 20 日-21 日

佐伯和子, 岡本玲子, 安齋由貴子, 奥山則子, 荒賀直子, 村嶋幸代
学士課程における保健師教育の問題点と積み上げ教育の必要性 (3)
－積み上げ 1 年以上の保健師教育の内容－
第 19 回日本看護学教育学会学術集会, 北海道 日本赤十字北海道看護大学, 2009 年 9 月 20 日-21 日

村嶋幸代, 永田智子, 田口敦子, 成瀬昂, 桑原雄樹, 野尻直美
訪問看護ニーズに関する研究(第 1 報) 顕在・潜在ニーズの実態把握と将来推計
第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良県 奈良県文化会館・奈良県新公会堂, 2009 年 10 月 21 日-23 日

田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代, 成瀬昂, 桑原雄樹, 野尻直美
訪問看護ニーズに関する研究(第 2 報) 居宅介護支援事業所利用者における潜在ニーズ
第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良県 奈良県文化会館・奈良県新公会堂, 2009 年 10 月 21 日-23 日

永田智子, 田口敦子, 村嶋幸代, 成瀬昂, 桑原雄樹, 野尻直美
訪問看護ニーズに関する研究(第 3 報) 施設系サービスにおける潜在ニーズの把握
第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良県 奈良県文化会館・奈良県新公会堂, 2009 年 10 月 21 日-23 日

成瀬昂, 永田智子, 田口敦子, 村嶋幸代
要介護高齢者における 24 時間の訪問介護, および訪問看護必要者の対象像の明確化
第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良県 奈良県文化会館・奈良県新公会堂, 2009 年 10 月 21 日-23 日

川本晃子, 山名由希子, 山田千佳, 有本梓, 田口敦子, 永田智子, 村嶋幸代
東京大学大学院修士課程「保健師コース」での地域診断・活動展開実習
第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良県 奈良県文化会館・奈良県新公会堂, 2009 年 10 月 21 日-23 日

松垣生代, 山野眞由美, 宮川春美, 岩本治也, 三浦好江, 尾形由起子, 村嶋幸代, 田口敦子, 桑原雄樹,
成瀬昂
難病・がん末期患者等の在宅緩和ケア構築における保健所の役割
第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良県 奈良県文化会館・奈良県新公会堂, 2009 年 10 月 21 日-23 日

馬場千恵, 村山洋史, 田口敦子, 有本梓, 永田智子, 村嶋幸代
乳児を持つ母親の孤独感と社会との関係性 家族・友達との接触とソーシャルサポート
第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良県 奈良県文化会館, 2009 年 10 月 21 日-23 日

Hiroshi Murayama, Atsuko Taguchi, Shuhei Ryu, Satoko Nagata, Sachiyo Murashima.
Is *Sekentei* Associated with Reluctance to Use Formal Care Services? A Multilevel Analysis in Japan.
The 137th APHA Annual Meeting, Philadelphia, Pennsylvania Convention Center, Nov.7-11 2009

島村珠枝

台湾の結核対策と DOTS

平成 21 年度全国結核対策推進会議, 東京都 ヤクルトホール, 2010 年 3 月 5 日

岡本美香子、村山陵子、樋口善英、中田真木、上妻志郎、村嶋幸代.

産後 1～6 か月の腹横筋・骨盤底筋群機能. 日本助産学会誌. 2010;23(3):461.

第 24 回日本助産学会学術集会, 茨城県 つくば国際会議場 2010 年 3 月 19 日-20 日

(7) 講演等

村嶋幸代 (講演・講師)

平成 21 年度福岡県在宅医療推進事業の展開に係る検討会

平成 21 年度在宅医療推進事業の展開について

福岡県庁 1 階特 A 会議室, 2009 年 5 月 14 日

村嶋幸代 (講演・講師)

平成 21 年度専門研究会

「住民の期待に応える保健師活動」

茨城県市町村会館 201 会議室, 2009 年 6 月 8 日

村嶋幸代 (講演・講師)

平成 21 年度社団法人石川県看護協会保健師職能集会

「保健師教育の動向～地域看護実習の実態から保健師教育を見直す～」

石川県地場産業振興センター, 2009 年 6 月 14 日

村嶋幸代 (座長)

第 51 回日本老年医学会学術集会

一般演題 口演「介護・看護・他」

パシフィコ横浜, 2009 年 6 月 19 日

村嶋幸代 (講演・講師)

平成 21 年度北海道看護協会保健師職能集会

「保健師の専門性をつくる基礎教育・現任教育」

札幌国際ビル 8 階 国際ホール, 2009 年 7 月 4 日

村嶋幸代（講演・講師）

保健師教育研修会

「保助看法の改正を受けて、今、何をしなければならないか」
いきいきほーる2階中会議室，2009年9月2日

村嶋幸代（講演・講師）

日本看護学校協議会 統合カリキュラム教育実施施設会議

「保健師助産師看護師法の改正を受けて～保健師教育に必要な変革」
アルカディア市ヶ谷（私学会館）7階「妙高」，2009年9月3日

村嶋幸代（講演・講師）

平成21年度福岡県在宅医療推進担当者会議及び研修会

「地域の看護力をあげる行政（保健所・市町村）の機能と役割～地域連携を促す看護の力～」
吉塚合同庁舎801号，2009年9月11日

村嶋幸代（講師）

特別講義 在宅看護

「在宅分野における研究とサービスの質の評価・改善① 24時間ケアの実践」
聖路加看護大学2号館5階ミーティングルーム，2009年11月4日

村嶋幸代（講演・講師）

平成21年度第2回主査（リーダー）保健師研修会

「保助看法の改正を受けて、今、何をしなければならないか」～法律改正を実効あるものにするために～
福岡県吉塚合同庁舎 7階702会議室，2009年11月9日

村嶋幸代（講演・講師）

平成21年度全国保健師教育機関協議会 東北地区教員研修会講演

「保健師の専門性について～ゆるぎない保健師活動のために」
岩手県県民情報交流センター（アイーナ），2009年11月14日

村嶋幸代（座長）

「訪問看護サミット（第15回訪問看護・在宅ケア研究交流集会）」
訪問看護・在宅ケア研究発表会 座長
日本教育会館，2009年11月15日

村嶋幸代（司会）

第29回日本看護科学学会学術集会

リレー講演 日本の組織文化におけるワーク・ライフ・バランスとキャリアデザイン
幕張メッセ国際会議場国際会議室，2009年11月28日

村嶋幸代（講演・講師）

平成 21 年度福岡県在宅医療推進研修会

「保健師を中核とした在宅緩和ケアを可能にする 2 年目の戦略」

福岡県吉塚合同庁舎 803 会議室（8 階），2010 年 3 月 8 日

村嶋幸代（講師）

平成 21 年度職場内研修

「新人保健師の教育について」

江東区深川南部保健相談所，2010 年 3 月 15 日

永田智子（講師）

平成 21 年度院内認定看護師研修

「ケアマネジメント」

東京大学医学部附属病院，2009 年 11 月 27 日

（8）受賞

有本梓

日本看護科学学会 学術論文奨励賞，2009 年 11 月 27 日

3. 研究活動

(1) 抄読会 (毎週火曜日) 前期 2009. 4/7~7/7, 後期 9/15~2009. 3/9

- 4月7日 抄読会オリエンテーション
- 4月14日 白石三恵 (文献紹介) : AS Olafsdottir, GV Skuladottir, et al. Combined effects of maternal smoking status and dietary intake related to weight gain and birth size parameters. *Fetal medicine*, 113: 1296-1302, 2006. (クリティーク 岡本)
廣田真由美 : 修士論文経過報告
村山亜矢子 : 修士論文経過報告
- 4月21日 島村珠枝 (文献紹介) : Sylla Thiam, Andrea M LeFevre, et al. Effectiveness of s Strategy to Improve Adherence to Tuberculosis Treatment in a Resource-Poor Setting. *JAMA*, 297(4): 380-386, 2007. (クリティーク 成瀬)
渋井優 : 修士論文経過報告
中山香映 : 博士論文経過報告
- 4月28日 堀田久美 (文献紹介) : Ruth Feldman, Aron Weller, et al. Evidence For a Neuroendocrinological Foundation of Human Affiliation. *Psychological Science*, 18(11): 965-970, 2007. (クリティーク 松崎)
川口祥 : 修士論文経過報告
石塚裕美子 : 修士論文経過報告
- 5月12日 戸村ひかり (文献紹介) : Ann-Helen Almborg, Kerstin Ulander, et al. Patients' perceptions of their participation in discharge planning after acute stroke. *Journal of Clinical Nursing*, 18:199-209, 2008. (クリティーク 野尻)
新植文枝 : 修士論文経過報告
桑原雄樹 : 修士論文経過報告
- 5月19日 山田千佳 (文献紹介) : S Cummins, M Stafford, et al. Neighborhood environment and its association with self rated health: evidence from Scotland and England. *J Epidemiol Community Health*, 59:207-213, 2005. (クリティーク 村山 (陵))
渡邊麻衣子 : 博士論文経過報告
野尻直美 : 博士論文経過報告
- 5月26日 川本晃子 (文献紹介) : Mary Courtney, Helen Edwards. Fever Emergency Readmissions and Better Quality of Life for Older Adults at Risk of Hospital Readmission: A Randomized Controlled Trial to Determine the Effectiveness of a 24-Week Exercise and Telephone Follow-Up Program. *The American Geriatric Society*, 57:395-402, 2009. (クリティーク 有本)
渡邊麻衣子 (文献紹介) : K Avlund, M Vass, et al. Educational intervention toward preventive home visitors reduced functional decline in community-living older women. *Journal of clinical Epidemiology*, 60:954-962, 2007. (クリティーク 堀田)

- 6月2日 山名由希子 (文献紹介) : Beverley A Lowton, Sally B Rose, Exercise on prescription for women aged 40-74 recruited through primary care: two year randomized controlled trial. *BMJ*, 13, 1-7, 2009. (クリティーク 春名)
島村珠枝 (文献紹介) : C. Raina MacIntyre, Simon Cauchemez, et al. Face Mask Use and Control of Respiratory Virus Transmission in Households. *Emerging Infections Diseases*. 15(2):233-241, 2009. (クリティーク 山田)
- 6月9日 草刈由美子 (文献紹介) : Pao-Chen Lin, Miaofen Yen, et al. Quality of life in elders living alone in Taiwan. *Journal of Clinical Nursing*. 12:1610-1017, 2008. (クリティーク 田口)
白石三恵 (文献紹介) : Ahmad Esmailzadeh, Leila Azadbakht, et al. Major Dietary Patterns in Relation to General Obesity and Central Adiposity among Iranian Women¹⁻³. *The Journal of Nutrition*, 138:358-363, 2008 (クリティーク 川本)
- 6月16日 山居優子 (文献紹介) : Coleman EA, Parry C, The Care Transitions Intervention Results of a Randomized Controlled Trial. *Archives of Internal Medicine*, 166:1822-1828, 2006 (クリティーク 村嶋)
田口敦子 (地域 topic) : 「訪問看護需給計画策定に関する調査研究業務」報告書
- 6月23日 岡本美香子 (文献紹介) : Daniells Symons Downs, Jennifer M. Determinants of Pregnancy and Postpartum Depression: Prospective Influences of Depressive Symptoms, Body Image Satisfaction, and Exercise Behavior. *The Society of Behavioral Medicine*, 36:54-63, 2008. (クリティーク 山名)
村山陵子 (母性 topic) : 研究経過報告「妊娠期の骨盤安定機能の着目した姿勢に変化についての研究-姿勢と関連するマイナートラブルの予防的援助を目指して-
- 6月30日 成瀬昂 (文献紹介) : Cololin Donath, Angelika Winkler, et al. Short-term residential care for dementia patients: predictors for utilization and expected quality from a family caregivers' point of view. *International Psychogeriatrics*, 1-8, 2009 (クリティーク 草刈)
戸村ひかり : 博士論文経過報告
- 7月7日 永田智子 (文献紹介) : Kathryn H Bowles, John H Holmes, et al. Factors Identified by Experts to Support Decision Making for Post Acute Referral. *Nursing Research*, 58(2)115-122, 111(2):179-185, 2009. (クリティーク 山居)
石塚裕美子・廣田真由美 : 地域看護学会予行
戸村ひかり : 地域看護学会予行
- 9月15日 戸村ひかり (文献紹介) : Bellary S, O'Hare JP, et al. Enhanced diabetes care to patients of south Asian ethnic origin (the United Kingdom Asian Diabetes Study): a cluster randomized controlled trial. *Lancet*. 2008 May 24; 371(9626):1769-76. (クリティーク 成瀬)
Insook Lee (地域 topic) : Home Visiting services in Korea related to Study Plan in Japan

- 9月29日 山名由希子 (文献紹介) : Kamphuis CB, van Lenthe FJ, et al. Socioeconomic differences in lack of recreational walking among older adults: the role of neighborhood and individual factors. *Int J Behav Nutr Phys Act.* 2009 Jan 5;6:1. (クリティーク 島村)
新植文枝 : 修士論文経過報告
- 10月6日 山居優子 (文献紹介) : Steeman E, Moons P, Milisen K, De Bal N, De Geest S, et al. Implementation of discharge management for geriatric patients at risk of readmission or institutionalization. (クリティーク 春名)
廣田真由美 : 修士論文経過報告
成瀬昂 : 博士論文経過報告
- 10月13日 川本晃子 (文献紹介) : Kuriyama S, Nakaya N, et al. Factors associated with psychological distress in a community-dwelling Japanese population: the Ohsaki Cohort 2006 Study. (クリティーク 田口)
島村珠枝 : 博士論文経過報告
- 10月20日 草刈由美子 (文献紹介) : Lau DT, Kirby JB. The relationship between living arrangement and preventive care use among community-dwelling elderly persons. *Am J Public Health.* 2009 Jul;99(7):1315-21. Epub 2009 May 14.
(クリティーク 松崎)
川本晃子・山田千佳・山名由希子 : 公衆衛生学会予行
- 10月27日 岡本美香子 : 博士論文経過報告
川口祥 : 修士論文経過報告
村山亜矢子 : 修士論文経過報告
- 11月10日 有本梓 (文献紹介) : Melhuish E, Belsky J, et al. Effects of fully-established Sure Start Local Programs on 3-year-old children and their families living in England: a quasi-experimental observational study. *Lancet.* 2008 Nov 8;372(9650):1641-7. (クリティーク 成瀬)
石塚裕美子 : 修士論文経過報告
桑原雄樹 : 修士論文経過報告
- 11月17日 川本晃子 : 修士論文経過報告
山名由希子 : 修士論文経過報告
堀田久美 : 博士論文経過報告
渋谷優 : 修士論文経過報告
- 11月24日 山田千佳 : 修士論文経過報告
草刈由美子 : 修士論文経過報告
武内奈緒子 : 博士論文経過報告

- 12月1日 岡本美香子 (文献紹介) : Herbert WJ, Heiss DG, et al. Influence of feedback schedule in motor performance and learning of lumbar multifidus muscle task using rehabilitative ultrasound imaging: a randomized clinical trial, *Physical Therapy*, 88(2):261-269, 2008. (クリティーク 野尻)
山居優子 : 修士論文経過報告
戸村ひかり : 博士論文経過報告
- 12月8日 堀田久美 (文献紹介) : Todd H.Rockwood , James M.Church, et al. Fecal Incontinence Quality of Life: Scale Quality of Life Instruments with Fecal Incontinence. *Dis Colon Rectum*, 43(1):9-16, 2000. (クリティーク 永田)
尾形玲美 : 卒業論文経過報告
- 12月15日 山田千佳 (文献紹介) : Bridget Dibb, Lucy Yardley. How does Social Comparison within a self-help group influence adjustment to chronic illness? A longitudinal study. *Social Science & Medicine*, 63(6):1602-1613, 2006. (クリティーク 有本)
横山由美 : 博士論文経過報告
- 1月5日 修士論文サポート (3 班制)
- 1月12日 修士論文サポート (3 班制)
- 1月19日 修士論文発表予行 (2 班制)
- 1月26日 村山亜矢子 : 修士論文発表予行
桑原雄樹 : 修士論文発表予行
渋井優 : 修士論文発表予行
川口祥 : 修士論文発表予行
石塚裕美子 : 修士論文発表予行
廣田真由美 : 修士論文発表予行
新植文枝 : 修士論文発表予行
- 2月2日 成瀬昂 (文献紹介) : Judith T B, Nathalie C.G.M.D. Work Characteristics and determinants of satisfaction in four age groups: university employees' point of view. *Internal occupational Health*, 82:1249-1259, 2009. (クリティーク 岡本)
日下桃子 : 卒業論文経過報告
尾形玲美 : 卒業論文経過報告
- 2月16日 桑原雄樹 (文献紹介) : Nicholas G Castle, Kristin E Sonon, et al. The Search and selection of Assisted Living Facilities by Elders and Family. *Medical care* 45(8):729-738, 2007. (クリティーク 武内)
山居優子 : 修士論文経過報告

- 2月23日 渋井優(文献紹介) : Caitlin K Holey, Benjamin T Mast. The Impact of Anticipatory Grief on Caregiver Burden in Dementia Caregivers, *The Gerontologist*, 49(3):388-396,2009. (クリティーク 村山(亜))
白石三恵 : ノースカロライナ大学研修報告-介入研究を行う前に-
- 3月2日 廣田真由美(文献紹介) : Richard C. Antonelli, Christopher J. Stille, et al. Care Coordination for Children and Youth With Special Care Needs: A Descriptive, Multisite Study of Activities, Personnel Costs, and Outcomes. *Pediatrics*, 122(1):209-216, 2008. (クリティーク 石塚)
山田千佳 : 修士論文経過報告
草刈由美子 : 修士論文経過報告
- 3月9日 川口祥(文献紹介) : Lee Anne Roman, Judith K Lindsay, et al. Addressing Mental Health and Stress in Medicaid-Insured Pregnant Women Using a Nurse-Community Health Worker Home Visiting Team. *Public Health Nursing*, 24(3):239-248,2007. (クリティーク 新槇)
川本晃子 : 修士論文経過報告
山名由希子 : 修士論文経過報告

(2) 研究会

	日程	講師およびテーマ (敬称略)
第162回	2009年 4月17日	小林小百合 (東京医科歯科大学保健衛生学研究科 高齢者看護・ケアシステム開発学) 「グループホームにおける認知症高齢者の「食」に関連したケア ーケア提供者の「食」に対する視点とケアのプロセスー」 村山洋史 (東京大学高齢社会総合研究機構) 「地域インフォーマル組織とのネットワーク構築を促進するプログラムの 開発ー地域包括支援センターにおける有効性の検討ー」
第163回	5月15日	吉池由美子 (三菱総合研究所 人間・生活研究本部) 「平成21年度介護報酬改定について」
第164回	6月19日	五十嵐千代 (富士電機リテイルシステムズ株式会社 健康管理室) 「産業保健の5分野からの、生き活きとした労働生活への健康支援 ー企業における保健師の連携と調整」
第165回	7月17日	河口洋行 (国際医療福祉大学 医療経営管理分野) 「医療分野での効率性測定の手法と問題点」
第166回	8月4日	Rita Newland (City University London) 「大学・大学院との協働による保健師の継続教育」
第167回	9月8日	後藤隆 (日本社会事業大学 社会福祉学部福祉計画学科) 「ヒューマンサービス分野「物語状」質的データの計量テキスト分析」
第168回	10月16日	勝又浜子 (厚生労働省 健康局総務課保健指導室) 「最新の地域保健の動向と保健師活動」
第169回	11月17日	久田満 (上智大学総合人間科学部 心理学科) 「心理尺度の作り方・使い方ー労働者用コミュニティ感覚尺度の開発を 通してー」
第170回	12月11日	高山義浩 (厚生労働省健康局結核感染症課 新型インフルエンザ対策推進室) 「新型インフルエンザの発生動向と行政の対応」
第171回	2010年 2月5日	Insook Lee (Seoul National University College of Nursing) 「Development of community based preventive health care model for the aged in Korea through evaluation of Japanese counterpart.」
第172回	3月26日	星野齊之 (財団法人結核研究所 対策支援部) 「日本の結核および結核対策の現状と今後の展望」

(3) 研究プロジェクト

村嶋幸代, 山田雅子, 田上豊, 福田敬, 竹内美和枝, 永田智子, 田口敦子, 有本梓

複数の訪問看護ステーションによる地域単位の24時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究

平成21年度厚生労働省労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業

村嶋幸代, 秋山弘子, 大内尉義, 川越雅弘, 辻哲夫, 三上裕司, 森田朗, 山田雅子, 福田敬, 永田智子, 田口敦子, 成瀬昂, 桑原雄樹

訪問看護需給に関する調査研究

平成21年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)

永江尚美, 飯田芳枝, 堀幸子, 戸森良江, 柳瀬厚子, 山科美絵, 永田智子, 大木幸代, 秋山正子, 川又協子, 山名由希子

保健所機能を活かした地域の保健・医療(看護)・福祉の連携強化

平成21年度全国保健師長会調査研究事業

永田智子, 戸村ひかり, 石塚裕美子, 廣田真由美, 山居優子, 草刈由美子, 田口敦子, 有本梓, 村嶋幸代

地域ケアにおける看護連携ガイドラインの作成—外来と在宅ケア機関に焦点を当てて—

平成21年度科学研究費補助金基盤研究(B)

田口敦子

住民組織のネットワーク力を測定する尺度の妥当性検証

平成19-21年度科学研究費補助金若手研究(B)

村嶋幸代, 永田智子, 田口敦子, 有本梓

個人・集団・地域を対象とした保健指導ソリューションの開発

平成20-21年度科学研究費補助金挑戦的萌芽研究

村嶋幸代, 永田智子, 田口敦子, 有本梓

協働アクションリサーチによる地域看護活動の評価モデルの開発

平成21-23年度科学研究費補助金基盤研究(B)

廣田真由美, 戸村ひかり, 永田智子, 村嶋幸代

在宅へ移行した重症児とその家族についてのケーススタディ—退院支援とその後の生活に焦点を当てて—

平成21年度 (財)勇美記念財団 在宅医療助成

新植文枝

産業保健師の専門技術の明確化:労働状況への働きかけに必要な産業保健活動の基盤作りに焦点をあてて

(財)千代田健康開発事業団 平成21年度(第56回)社会厚生事業助成金制度「医学研究助成」

(4) 教室内勉強会

抄読会の復習（研究手法に関する）勉強会

	日程	内容
第1回	4月16日	AS Olafsdottir, GV Skuladottir, et al. Combined effects of maternal smoking status and dietary intake related to weight gain and birth size parameters. <i>Fetal medicine</i> , 113: 1296-1302, 2006. 研究デザインについて
第2回	4月23日	Sylla Thiam, Andrea M LeFevre, et al. Effectiveness of a Strategy to Improve Adherence to Tuberculosis Treatment in a Resource-Poor Setting. <i>JAMA</i> , 297(4): 380-386, 2007. 研究デザインについて
第3回	4月30日	Ruth Feldman, Aron Weller, et al. Evidence For a Neuroendocrinological Foundation of Human Affiliation. <i>Psychological Science</i> , 18(11): 965-970, 2007. 表の見方について
第4回	5月14日	Ann-Helen Almborg, Kerstin Ulander, et al. Patients' perceptions of their participation in discharge planning after acute stroke. <i>Journal of Clinical Nursing</i> , 18:199-209, 2008. サンプリングについて
第5回	5月27日	S Cummins, M Stafford, et al. Neighborhood environment and its association with self rated health: evidence from Scotland and England. <i>J Epidemiol Community Health</i> , 59:207-213, 2005. 概念図とサブストラクションについて
第6回	6月4日	Mary Courtney, Helen Edwards. Fever Emergency Readmissions and Better Quality of Life for Older Adults at Risk of Hospital Readmission: A Randomized Controlled Trial to Determine the Effectiveness of a 24-Week Exercise and Telephone Follow-Up Program. <i>The American Geriatric Society</i> , 57:395-402, 2009. Beverley A Lowton, Sally B Rose, Exercise on prescription for women aged 40-74 recruited through primary care: two year randomized controlled trial. <i>BMJ</i> , 13, 1-7, 2009. 統計手法について
第7回	6月11日	Pao-Chen Lin, Miaofen Yen, et al. Quality of life in elders living alone in Taiwan. <i>Journal of Clinical Nursing</i> . 12:1610-1017, 2008. 統計手法について
第8回	6月18日	Coleman EA, Parry C, The Care Transitions Intervention Results of a Randomized Controlled Trial. <i>Archives of Internal Medicine</i> , 166:1822-1828, 2006 統計手法について
第9回	6月25日	Daniells Symons Downs, Jennifer M . Determinants of Pregnancy and Postpartum Depression: Prospective Influences of Depressive Symptoms, Body Image Satisfaction, and Exercise Behavior. <i>The Society of Behavioral Medicine</i> , 36:54-63, 2008. 統計手法について
第10回	6月29日	α エラーと β エラーについて

Case Study 勉強会 (2009年4月27日～6月29日)

テキスト:

①Yin, Robert K.: Case Study Research 4th edition. Thousand Oaks: SAGE Publications Inc, 2008.

②R.K.イン著, 近藤公彦訳: ケース・スタディの方法. 東京: 千倉書房, 1996.

日程	テーマ	担当
4月27日	ケーススタディの概要, Journal 紹介	島村・廣田
5月7日	Chapter1 Introduction: How to Know Whether and When to Use Case Studies as a Research Method	成瀬・有本
5月11日	Chapter2 Designing Case Studies: Identifying Your Case(s) and Establishing the Logic of Your Case Study	島村・田口
5月25日	Chapter3 Preparing to Collect Case Study Evidence: What You Need to Do Before Starting to Collect Case Study Data	武内・成瀬
6月1日	Chapter4 Collecting Case Study Evidence: The Principles You Should Follow in Working with Six Sources of Evidence	武内・永田
6月8日	Chapter5 Analyzing Case Study Evidence: How to Start you're Analysis, Your Analytic Choices, and How They Work	廣田・新槇
6月15日	Chapter6 Reporting Case Studies: How and What to Compose	石塚・島村
6月22日	Case Study Anthology (Robert K. Yin. SAGE Publications Inc. 2004), Chapter 1 and 16	島村・成瀬
6月29日	Case Study 文献レビュー	武内

Scale Development 勉強会 (2009年7月13日～11月30日)

テキスト: Robert F. DeVellis 著, Scale Development theory and Applications 2nd Edition, 2003.

日程	テーマ	担当
7月13日	第1章 Overview	戸村
9月28日	第2章 Understanding the Latent Variable	戸村
10月5日	第3章 Reliability_1/2	岡本
10月19日	第3章 Reliability_2/2	成瀬
10月26日	第4章 Validity	藤島
11月9日	第5章 Guidelines in Scale Development	川本, 草刈, 山居, 山田, 山名
11月26日	第6章 Factor Analysis	岡本, 戸村, 成瀬
11月30日	第7章 An overview of item response theory	島村

研究方法に関する勉強会

「保健医療福祉ナビ」(監修 福田吉治、山縣然太郎、金原出版株式会社)

	日程	内容
第1回	7月16日	1. 概論
第2回	7月21日	2. 研究方法 (1)
第3回	7月22日	3. 研究方法 (2)
第4回	7月23日	PICO の実践、研究計画について
第5回	7月24日	研究計画について

退院支援チーム勉強会 (2009年8月27日~2010年3月16日)

テキスト:

①Patricia J. Volland 著: Discharge Planning-An Interdisciplinary Approach to Continuity of Care, 1989.

②Judith Warring Roden 著: Discharge Planning Guide For Nurses, 1990.

日程	テーマ		
① Discharge Planning			
2009年	第1章	Evolution of Discharge Planning	永田
8月27日	第2章	Discharge Planning Models	草刈
	第3章	A Multidisciplinary Approach	山居
9月3日	第4章	Physician Focus	戸村
	第5章	Nursing Focus	
	第6章	Social Work Focus	
9月10日	第7章	A Multidisciplinary Approach to Continuing	山居
9月24日	第9章	The Administrative Focus	永田
	第10章	Case Management and Discharge Planning	戸村
10月1日	第11章	Patient Education in the Discharge Planning Process	山居
10月9日	第13章	Model for Decision Making in the Discharge Planning Process	草刈
② Discharge Planning Guide For Nurses			
10月15日	Chapter1-3	Understanding the discharge planning process	戸村
10月29日	Chapter1-4	Nursing roles and the planning of continuing care	草刈
11月5日	Chapter2-1	Nursing roles and the planning of continuing care	戸村
11月11日	Chapter2-2	How to apply communication skills to discharge planning	永田
11月19日	Chapter2-3	How to apply teaching skills to discharge	山居
12月3日	Chapter3-1	Stress: a major determinant of the health	戸村
12月10日	Chapter3-2	The individual: personality, self-perception, and beliefs	草刈
12月16日	Chapter3-3	The socio-cultural context of care planning	永田
12月24日	Chapter3-4	Financial realities and medical necessity	永田

2010年			
1月21日	Chapter4-1	Identifying health team resources	山居
2月3日	Chapter4-2	How multidisciplinary teams work	戸村
2月10日	Chapter4-3	Example of team approaches	草刈
2月17日	Chapter4-4	How to include patient and family as team members	永田
2月24日	Chapter6-1	Making decisions that guide discharge planning	廣田
3月3日	Chapter6-2	Motivation for success of the plan	石塚
3月16日	Chapter6-3	Steps toward implementation	山居
	Chapter6-4	How to evaluate discharge planning	

保健指導ソリューション勉強会 (2009年9月30日~2010年3月26日)

保健指導をテーマに参加者各自でテーマを決め、文献レビューを行った。

	日程	内容
第1回	9月30日	ブレインストーミング (テーマの絞り込み)
第2回	10月19日	文献検索結果の検討
第3回	11月9日	文献検索結果の検討
第4回	11月25日	文献検討
第5回	12月3日	文献検討
第6回	12月17日	文献検討
2010年		
第7回	1月7日	文献検討
第8回	1月26日	文献検討
第9回	2月12日	文献検討
第10回	2月26日	文献検討
第11回	3月12日	文献検討
第12回	3月26日	文献検討

4. 教育活動

(1) 学部講義

1) 地域看護学 3年後期Ⅰ・Ⅱ (4単位)

担当： 村嶋幸代／永田智子／田口敦子／有本梓

期間：Ⅰ 平成21年10月22日～平成21年12月3日 木曜日 13:00～16:10

Ⅱ 平成21年12月9日～平成22年2月3日 水曜日 9:00～12:10

日程	テーマ	担当
Ⅰ		
10月22日 (木)	休講 (公衆衛生学会の為)	
10月29日 (木)	地域看護学の概念, 対象と機能, 動向	村嶋
11月5日 (木)	成人保健活動論	錦戸
11月12日 (木)	感染症と危機管理	河西
11月19日 (木)	母子保健活動論	有本
11月26日 (木)	地域アセスメント講義および演習	村嶋・永田・有本・田口
12月3日 (木)	地域看護の展開事例	佐藤
Ⅱ		
12月9日 (水)	在宅看護論1	角田
12月16日 (水)	在宅看護論2	角田
2009年		
1月13日 (水)	地域アセスメント演習 (世田谷区)	村嶋・永田・有本・田口
1月20日 (水)	在宅看護論3	角田
1月27日 (水)	地域アセスメント発表会	村嶋・永田・有本・田口
2月3日 (水)	基礎看護学Ⅲ (1月13日の振替え)	

講師 河西あかね 東京都 福祉保健局 町田保健所 保健対策課 地域保健係
 角田直枝 訪問看護振興財団認定看護師教育課程訪問看護学科 主任教員
 佐藤千都子／藤田弘美 文京区文京保健所 小石川保健サービスセンター
 錦戸典子 東海大学健康科学部看護学科 教授

2) 在宅看護論 4年前期 I (2単位)

担当： 村嶋幸代／永田智子／有本梓

期間： 平成21年4月8日～平成21年4月27日 水曜日 9:00～12:10 (一部変更あり)

日程	講義題目	担当
4月8日(水)	介護保険制度／ケアマネジメント	永田
4月13日(月)	ケアマネジメント(演習)	永田・有本
4月15日(水)	在宅ケアシステム・介護予防	村嶋
4月16日(木)	病院から地域へー退院支援	鈴木・永田
4月20日(月)	難病患者への地域看護活動	小西
4月22日(水)	地域の危機管理	村嶋
4月27日(月)	重症心身障害児の在宅看護	東部訪問看護事業部

講師 鈴木樹美 東京大学医学部附属病院地域医療連携部
 小西かおる 昭和大学保健医療学部看護学科地域・在宅看護学 教授
 東京都東部訪問看護事業部

3) 保健指導論 4年前期 I (2単位)

担当： 村嶋幸代／永田智子／田口敦子／有本梓

期間： 平成21年4月9日～平成21年5月14日 (一部変更あり)

日程	講義題目	担当
4月9日(木)	保健指導概論	村嶋
	地区組織活動・グループ支援	
	保健指導の方法：集団指導の立案(演習)	田口
4月16日(木)	保健指導の方法：集団指導の立案(演習)	田口・村嶋
4月23日(木)	保健指導の実際：個別指導 ー生活習慣病予防を中心にー	松田
4月30日(木)	保健指導の実際：家庭訪問 健康診査	上野
5月7日(木)	保健指導の実際：家庭訪問 健康診査	上野
5月13日(水)	保健指導の実際：集団指導の実施(演習)	村嶋・永田 有本・田口
5月14日(木)	保健指導の実際：個別指導 ー特定保健指導プログラム(確定版)よりー	松田

講師 上野昌江 大阪府立大学 地域看護学 教授
 松田一美 全国健康保険協会 保健サービスグループ グループ長

- 4) 生きることを支える科学：看護学の最先端
 対象：駒場学生
 期日：平成21年6月25日
 内容：退院支援―病院と地域をつなぐ―（永田）
 期日：平成21年7月2日
 内容：人々の健康と社会を護る看護の研究（村嶋）
- 5) 健康科学・看護学概論
 対象：健康科学・看護学科 学生
 期日：平成21年12月2日
 内容：人々の健康と生活を支える看護の科学：地域で看護する，地域を看護する，地域に向けて看護する（村嶋）

(2) 学部実習

[4年生] 地域看護学実習

期間：平成21年7月6日（月）～7月17日（金）
 平成21年7月13日（月）～7月24日（金）

実習施設：

文京区保健サービスセンター	(2名)
文京区保健サービスセンター本郷支所	(2名)
世田谷区玉川総合支所健康づくり課	(2名)
世田谷区砧総合支所健康づくり課	(2名)

[4年生] 在宅看護論実習

期間：平成21年11月9日（月）～11月13日（金）

実習施設：

①退院支援部署（1日）	
東京大学医学部附属病院・地域医療連携部	(5名)
三井記念病院・退院支援室	(3名)
②訪問看護ステーション（3日）	
訪問看護ステーションけせら	(2名)
小石川医師会訪問看護ステーション	(3名)
セコム田園調布訪問看護ステーション	(1名)
全仁会上野訪問看護ステーション	(2名)

(3) 大学院特論

1) 地域看護学特論 I

担当：村嶋幸代／永田智子／Kathy Magilvy (University of Colorado Denver)／
吉田亨 (群馬大学医学部保健学科)

日程：平成20年4月～7月 火曜日 金曜日

内容：地域看護学の理論・実践・研究について修士レベルの教科書を用いながら学ぶとともに、
地域看護活動の方法論の一つである地域組織活動の理論と応用を学ぶ。

主なテキスト：

Allender J.A., Rector C, Warner K

Community Health Nursing, Promoting and Protecting the Public's Health 7thed., Lippincott Williams & Wilkins, 2009.

4月21日 (火) 13:30～14:30	オリエンテーション, 打ち合わせ	(村嶋)
5月19日 (火) 13:10～16:10	講義 Community Analysis	(Magilvy)
26日 (火) 13:10～16:10	文献輪読・討議 Ch4: Evidence-Based Practice and Ethics in Community Health Nursing Ch7: Epidemiology in Community Health Care	
29日 (金) 16:30～19:30	地域における組織活動論 I (歴史と理論)	(吉田)
6月19日 (金) 13:30～16:30	地域における組織活動論 II (活動の実際)	(吉田)
7月3日 (金) 16:30～19:30	地域における組織活動論 III (ヘルスプロモーション)	(吉田)
14日 (火) 13:10～16:10	発表・討議 Evidence-Based Public Health Practice(Nursing)について	(村嶋)

2) 行政看護学特論 I

担当：村嶋幸代／有本梓／田口敦子

日程：平成20年4月～7月 火曜日

内容：行政保健師活動に活用可能なモデルや諸概念を学ぶと共に、地域看護の上級実践に必要な、地域のアセスメント、問題の発見、優先順位の決定、対策立案、実施、評価を、米国の教科書を使いながら学ぶ。

主なテキスト：

Allender J.A., Rector C, Warner K

Community Health Nursing, Promoting and Protecting the Public's Health 7thed., Lippincott Williams & Wilkins, 2009.

4月21日(火) 13:30～14:30	オリエンテーション, 打ち合わせ
5月12日(火) 13:10～16:10	文献輪読・討議 (地域看護の理論) Ch 14: Theoretical Basis of Community Health Nursing Ch 15: Community as Client: Applying the Nursing Process
6月2日(火) 13:10～16:10	文献輪読・討議 (地域ケアとその疫学) Ch12: Planning and Developing Community Programs and Services
9日(火) 13:10～16:10	文献輪読・討議 (ヘルスプロモーション) Ch 13: Policy Making and Community Health Advocacy
16日(火) 13:10～16:10	文献輪読・討議 (地域看護の基本事項) Ch 10: Communication, Collaboration, and Contracting
23日(火) 13:10～16:10	文献輪読・討議 (対象別ケア) Ch18: Theoretical Basis for Promoting Family Health
7月7日(火) 13:10～16:10	文献輪読・討議 (地域別ケア) Ch11: Health Promotion: Achieving Change Through Education
10日(金) 13:10～16:10	発表・討議 モデルの活用

3) 地域看護学特論Ⅱ

担当：村嶋幸代／永田智子／有本梓

田上豊（三菱総合研究所 人間・生活研究本部 グループ主席研究員）

麻原きよみ（聖路加看護大学 地域看護学 教授）

日程：原則火曜日

目的：地域看護学に関する研究の現状と課題について、特に在宅ケアを中心として学ぶ。
また、地域看護学研究の方法論についても学ぶ。

10月6日（火）	13:30～14:30	オリエンテーション，打ち合わせ	（村嶋）
13日（火）	13:30～16:30	文献レビューの方法	（有本）
16日（金）	13:30～16:30	質的研究の方法	（麻原）
27日（火）	13:30～16:30	対人サービスの評価	（田上）
30日（金）	13:30～16:30	地域看護実践における倫理に関する研究	（麻原）
11月17日（火）	13:30～16:30	在宅ケアの社会経済的評価	（田上）
12月1日（火）	13:30～16:30	地域ケアの評価	（田上）
8日（火）	13:30～16:30	発表・討議（文献レビュー）	（村嶋・永田）
15日（火）	13:30～16:30	発表・討議（文献レビュー）	（村嶋・永田）

4) 行政看護学特論Ⅱ

担当：村嶋幸代／有本梓／田口敦子

後藤隆（日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉計画学科）

勝又浜子（厚生労働省 健康局総務課 保健指導室 室長）

森田朗（東京大学 公共政策大学院 法学政治学研究科 教授）

堀井とよみ（滋賀県立大学 人間看護学部人間看護学科 教授）

大森純子（聖路加看護大学 看護学部 准教授） 他

日程：原則火曜日

内容：国や自治体の政策形成のしくみ，自治体の政策立案や制度の運用・評価方法について学び，保健師の施策化への関わり方を理解する。また，研究者として施策化にどのように関わることができるかを考える。

主なテキスト：森田朗 改訂版 現在の行政 放送大学教育振興会，2000

この他に，参考文献を配布

9月8日（火）18:00～20:00	ヒューマンサービス分野「物語状」質的データの計量テキスト分析	（後藤）
10月16日（金）18:00～20:00	最新の地域保健の動向と保健師活動	（勝又）
11月5日（木）13:30～16:30	行政学概論	（森田）
10日（火）13:30～16:30	保健師活動と施策化	（堀井）
11月17日（火）18:00～20:00	心理尺度の作り方・使い方	（久田）
12月11日（金）13:30～16:30	Community-based Participatory Research の概要と実践例	（大森）
11日（金）18:00～20:00	新型インフルエンザの現状と対策	（高村）

（4）大学院実習

[修士1年：保健師コース]

1) 継続家庭訪問実習

期間：2009年7月～2010年3月

実習施設：東京都在宅重症心身障害児訪問看護事業 東部訪問看護事業部（3名）

2) 地域診断・活動展開実習

期間：2009年8月17日～9月4日

実習施設：京都府井手町立保健センター（1名）

期間：2009年8月24日～9月18日

実習施設：福岡県遠賀郡水巻町 健康課介護予防係（1名）

期間：2009年8月24日～9月18日

実習施設：神奈川県小田原市 高齢介護課(1名)

平成21年度 地域診断・活動展開実習合同報告会

日時：2010年1月5日

場所：東京大学 医学教部育研究棟 第7セミナー室

3) 地域ケアマネジメント実習

期間：2009年12月7日～12月25日，2010年3月10日

実習施設：東京都世田谷区 介護予防担当部介護予防課（1名）

期間：2010年1月13日～3月19日

実習施設：東京都足立区東和保健総合センター（1名）

期間：2010年1月19日～3月18日

実習施設：神奈川県横浜市鶴見区 福祉保健課健康づくり係（1名）

（5）卒業論文

尾形 玲美（指導教員：村嶋幸代，有本梓）

児童虐待防止を目的に保育所と連携した行政保育師の支援内容

（6）修士論文

新槇 文枝（指導教員：村嶋幸代）

過重労働対策における産業保健師の部署支援内容の明確化

石塚 裕美子（指導教員：村嶋幸代）

内科病棟における高齢患者の計画外再入院に至る経過の分類

川口 祥 (指導教員: 村嶋幸代)
幼児をもつ母親の育児困難感と子どもの行動特性

栗原 雄樹 (指導教員: 村嶋幸代)
Data Envelopment Analysis (DEA)を用いた訪問看護ステーションの効率性測定

渋井 優 (指導教員: 村嶋幸代)
都市部高齢者における閉じこもり予備軍の類型化

廣田 真由美 (指導教員: 村嶋幸代)
重症児とその家族が退院に向けて受けた支援と退院後の問題

村山 亜矢子 (指導教員: 村嶋幸代)
職場の両立支援環境と子を持つ就労者のスピルオーバーおよび抑うつに関連

5. 学内での活動

(1) 委員会活動

村嶋幸代

医学系研究科健康科学看護学専攻 専攻長	平成 15 年 4 月～
東京大学 男女共同参画室 室員	平成 21 年 7 月～
東京大学医学部附属病院看護体制委員会 委員	平成 18 年 5 月～
医学系研究科 男女共同参画委員会 委員	平成 20 年 4 月～

永田智子

医学部健康科学・看護学科 教育委員	平成 19 年 4 月～
-------------------	--------------

(2) 教室内での役割分担

抄読会係	成瀬昂,	山田千佳,	草刈由美子
研究会係	島村珠枝,	山名由希子,	山居優子, 川本晃子
親睦会係	島村珠枝,	川本晃子,	草刈由美子, 山田千佳
PC 係	成瀬昂,	山居優子,	山名由希子
ホームページ係	成瀬昂,	島村珠枝,	山居優子, 山名由希子

6. 学会における活動

村嶋幸代

日本地域看護学会	
理事長	平成21年8月～
査読委員	平成21年11月～
評議員	平成12年6月～
理事	平成12年6月～
研究活動推進委員会 委員長	平成18年9月～
日本公衆衛生学会	
評議員	平成8年7月～
理事	平成14年9月～
公衆衛生看護のあり方に関する委員会 委員長	平成17年9月～
日本看護科学学会	
理事	平成19年12月～
評議員	平成19年12月～
英文誌編集委員会 委員長	平成20年2月～平成21年11月
表彰論文選考委員 委員長	平成21年12月～
日本民族衛生学会	
評議員	平成4年10月～
日本老年医学会	
学術評議員	平成15年4月～
日本看護研究学会	
評議員	平成19年4月～
日本老年社会学会	
評議員	平成19年4月～
日本看護管理学会	
評議員	平成21年4月～
Public Health Nursing (Journal)	
Reviewer	平成12年6月～
EAFONS (The East Asian Forum of Nursing Scholars)	
Board Member	平成19年4月～
Sigma Theta Tau. Alpha Kappa Chapter-at-Large (University of Colorado and Regis University joint chapter)	
Member	平成12年12月～
International Conference on Community Health Nursing Research	
Member	平成7年～
American Public Health Association	
Member	平成8年～

永田智子
 日本地域看護学会
 理事
 査読委員
 広報委員
 日本看護科学学会
 英文誌編集委員会委員
 第14回日本在宅ケア学会学術集会企画委員
 平成21年8月～
 平成21年8月～
 平成21年8月～
 平成22年1月～
 平成21年5月～平成22年3月

有本梓
 Public Health Nursing (Journal)
 Reviewer
 平成22年1月～

横山由美
 日本新生児看護学会 評議員
 平成10年11月～

7. 社会的活動

村嶋幸代
 厚生労働省医道審議会専門委員（保健師助産師看護師部分科会員）
 保健師国家試験KV委員
 日本看護系大学協議会
 看護学教育評価機関検討委員会 委員
 全国保健師教育機関協議会
 会長
 財団法人医療科学研究所
 評議員
 財団法人日本訪問看護振興財団
 選考委員
 財団法人中山科学振興財団
 評議員
 世田谷区地域包括支援センター運営協議会
 委員
 東京の地域ケアを推進する会議「専門部会B」
 専門委員
 平成17年11月～平成22年3月
 平成21年4月～
 平成18年4月～
 平成15年6月～
 平成20年4月～平成22年3月
 平成16年度～
 平成20年4月～
 平成20年7月～

永田智子
 文京区介護保険認定審査会委員
 平成17年4月～

有本梓
 日本保健師連絡協議会 協力者
 平成21年4月～平成22年3月

8. 教室日誌

2009年	4月7日	ウェルカムランチ（研究室）
	4月17日	新年度顔合わせ会（東大構内「山上会館」）
	5月18-20日	コロラド大学教授 Kathy Magilvy 先生 来日
	6月	竹野由香 事務員 採用
	7月23日	納涼会（本郷「山小屋」） 夏の大掃除
	9月1日	ソウル大学教授 Insock Lee 先生 教室滞在
	9月15日	ソウル大学教授 Insock Lee 先生 ウェルカムランチ（研究室）
	12月22日	忘年会（本郷「西安刀削麵酒楼 本郷店」） 年末大掃除
2010年	2月5日	ソウル大学教授 Insock Lee 先生 送別会（東大構内「カポ・ペリカーノ」）
	2月16日	ソウル大学教授 Insock Lee 先生 帰国
	3月9日	送別会（本郷「ミュン」） 年度末大掃除
	3月31日	川添麻紀子 事務員 国井由生子 事務員 退職

9. 教室員名簿 (2009 年度)

教授	村嶋幸代		
非常勤講師	田上豊 上野昌江	吉田亨 角田直枝	麻原きよみ 松田一美
講師	永田智子		
助教	田口敦子	有本梓	
事務員	堀美奈子 竹田由美 国井由生子	山口千鶴子 川添麻紀子 (2010年3月まで) 竹野由香 (2009年6月～)	遠藤裕子
大学院生 (博士課程)	横山由美 戸村ひかり 島村珠枝	武内奈緒子 野尻直美 成瀬昂	渡邊麻衣子 松永篤志(休学中)
大学院生 (修士課程)	新槇文枝 桑原雄樹 村山亜矢子 山居優子 浅水翔太・麦田真秀人・齋藤あや・橋本瑞希 (休学中)	石塚裕美子 渋井優 川本晃子 山田千佳	川口祥 廣田真由美 草刈由美子 山名由希子
Visiting Researcher	Insock Lee (2009年9月～2010年2月)		
客員研究員	大島浩子 小澤乃智子 小林小百合 鈴木樹美 高橋美砂子 服部真理子 渡井いずみ	岡田麻里 小西かおる 斉藤恵美子 鷺見尚己 玉木健太郎 村山洋史	尾形由起子 蔭山正子 島田陽子 征矢野あや子 田畑まりえ 吉岡京子
教室研究生	伊藤麻子 関口和子 宮崎綾子	白戸舞 関根綾希子	櫻井美里 長弘佳恵
卒論生	尾形玲美		